



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2009年10月14日
MR/J29/09

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

10月16日(金)～24日(土) 国連ウィーク
10月23日(金) 国連デー2009 シンポジウム
「人間の安全保障の発展－15年の回顧と展望」

内容 : 国連デー2009
日時 : 10月16日(金)～24日(土) 国連ウィーク
10月23日(金) 午後2時～5時 国連デー2009 シンポジウム
「人間の安全保障の発展－15年の回顧と展望」
場所 : 国連大学本部ビル(渋谷区)
主催 : 国連大学
協力 : 外務省

「国連デー」は、1945年10月24日に国連憲章が発効したことを記念して設けられた国連の記念日で、世界各国で記念行事が行われる。今年、日本では、10月16日(金)～24日(土)を国連ウィークとして、さまざまなイベントが企画されている。

国連ウィークのイベントには、16日(金)～18日(日)の3日間にわたって行われる、スタンド・アップが含まれ、また、青山周辺の企業や団体が連携した「青山コモンズ」も、10月24日・25日の週末にかけて「都会で里山に触れる」というテーマで子供も大人も楽しめるさまざまなイベントを国連大学本部とその周辺で行う予定である。

10月23日(金)には、国連大学が「人間の安全保障」をテーマにシンポジウムを開催。日本国内の国連諸機関と協力して、渋谷区にある国連大学本部の屋外において、一般の方々に参加いただける各種イベントや展示、パフォーマンスを用意している。

シンポジウムについて

「人間の安全保障」は、個人とそのニーズを政策立案の中心に据え、自然災害や貧困、疾病、不平等、暴力といった人々の安全保障に対する脅威を明らかにし、そうした脅威への対応策を探求するための哲学的根拠となる概念である。日本は本概念の提唱国の1つとして、知的面、経済面、そして実施面において最大の貢献を行ってきた。

国連大学で開催される国連デー2009 シンポジウムでは、誕生から15年を経た「人間の安全保障」の概念を検証し、この概念がどのように発展してきたかを詳しく述べるとともに、今後の課題を探る。武正公一 外務副大臣の開会のスピーチに続き、国連平和維持活動(PKO)局政策・評価・訓練部長である中満泉氏による基調講演、5名の著名なパネリストによるセッションを予定している。

シンポジウムおよび、国連ウィークのイベントは、すべて無料にて参加可能。

シンポジウムについては、日英の同時通訳あり。

国連デー2009の詳細は、ウェブサイト (<http://www.unu.edu/unday/>) で閲覧可能。

取材をご希望される方は、下記担当者までお知らせください。

国連大学広報部、担当：谷野(ヤノ) (電話：03-5467-1311；メール：media@unu.edu)

=====

1975年に開設した日本に本部組織を持つ唯一の国連機関。世界各地に広がる研究所や研修センターのネットワークとして学術活動を展開しており、東京の国連大学本部はその調整役を務めている。本部にはサステイナビリティと平和研究所(UNU-ISP)が、横浜には高等研究所(UNU-IAS)が設置されている。

MEDIA ADVISORY